

好きです！ 南関三小

学校教育目標
「やさしく・しっかり考え・たくましい
『南関三小っ子』の育成」

《育てたい力》
協力する力 考える力 やり抜く力

心を整え、思いを込めて ～硬筆指導、書写指導～

12月と1月に、元南関町教育長であり、南関第三小学校の元校長でもある大里耕守先生をお招きし、1年生から6年生が硬筆や書道に取り組みました。

大里先生は、一人一人の筆の動きを丁寧に見守りながら、姿勢や筆の運び方を温かく指導してくださいました。子供たちはその助言を受けて、集中して紙と向き合い一文字一文字に心を込めて書きました。地域の方から直接ご指導いただくこの時間は、子供たちにとって特別な学びの場です。筆の扱いだけでなく、作品づくりに向かう真剣な姿勢や、書き終えたときの達成感を味わうことができました。



サロンニ城山のみなさんとの 交流会

1月26日(月)、3年生は学校から公民館へ出かけ、サツマイモの苗植えなどで日頃からお世話になっている「サロンニ城山」のみなさんと交流会を行いました。日頃の感謝の気持ちをお伝えするとともに、昔の暮らしについてお話を伺う、心あたたまる時間となりました。

子供たちは、この日のためにレクリエーションを考えたり、歌やリコーダー、鍵盤ハーモニカの演奏を練習したりと、楽しみにしながら準備を進めてきました。また、交流会が気持ちよ

く進むように、言葉遣いや立ち振る舞いについて話し合い、何度もリハーサルを重ねる姿も見られました。



当日の公民館は、子供たちと地域のみなさんの笑顔でいっぱいになり、温かな雰囲気に包まれ、素敵なひとときとなりました。サロンニ城山のみなさま、子供たちとの交流の時間をつくりていただき、本当にありがとうございました。

新聞投稿の取組

南関三小では新聞投稿を積極的に行ってます。「2025年の漢字に『命』を選び、お米作りを通して農業が命を支えていることを実感し、環境学習では地球温暖化など命に関わる問題について学びました。地域の方との交流や学びを通して、命の大切さをもっと考え、生き物や家族、自分の命を大切にしたい」と表現した5年生の福原万優さん「命つなぐ農業 大切さを実感」

【R 8. 1. 12日付け熊日】が掲載されました。また、祖父の家で外のかまどで炊いたもち米が機械で丸まっていく様子を楽しみ、家族でおしゃべりしながらみんなで協力して餅つきをした冬休みの思い出について表現した3年生の竹隈伊織さん「自分で作った おいしいお餅」【R 8. 1. 28日付け熊日】が掲載されました。南関三小では、国語科の授業や週末作文の取組を充実させ、子供たちの表現力を高めています。

学校ホームページご覧ください



<https://es.higo.ed.jp/nankan3e/>



CHECK !

南関第三小学校の様子をカードのQRコードから、ホームページでご覧ください。